



平成 20 年 5 月 23 日

各 位

上場会社名 日 特 建 設 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 中 森 保
コード番号 1 9 2 9 (東証第 1 部)
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長
和 田 康 夫
(電話番号) 0 3 - 3 5 4 2 - 9 1 6 4

「継続企業の前提に関する注記」の記載除外に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 3 月期の決算短信及び平成 20 年 3 月期の中間決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりましたが、平成 20 年 3 月期の決算短信より除外することになりましたのでお知らせいたします。

記

当社および当社グループは、金融機関からの借入金を有しているところ、平成 19 年 6 月 27 日に公表いたしましたとおり、当社の連結子会社である株式会社ハイテクリース（以下「ハイテク」といいます。）において生じた不適切な会計処理により、過年度公表済みの有価証券報告書および半期報告書を訂正する事実が発生し、金融機関からの借入契約に記載された表明保証に違反するおそれがあったことから、継続企業の前提に重要な疑義を抱く事象が発生しました。

また、当社および当社グループは、平成 19 年 11 月 16 日開催の当社取締役会において、固定資産、販売用不動産の早期売却およびハイテクの清算を決議し事業構造改革損失を計上したこと、当社および当社グループの営業形態として下半期に完成する工事の割合が著しく大きいことから、平成 20 年 3 月期中間連結会計年度および同中間会計年度において債務超過となり、この面においても継続企業の前提に疑義を抱く事象が発生しました。

当社は、取引金融機関との間で、全ての借入金をシンジケートローンに一本化し、平成 20 年 1 月 18 日に新たに 10,331 百万円のタームローンによる資金調達を行うとともに、3,600 百万円のコミットメントラインを設定致しました。

また、当社は、平成 20 年 1 月 18 日にフェニックス・キャピタル・パートナーズ・シックス投資事業組合（以下「フェニックス・キャピタル・パートナーズ・シックス」といいます。）および株式会社不動テトラより普通株式 40 億円、並びにフェニックス・キャピタル・パートナーズ・シックスから優先株式 20 億円の増資払い込みを受けることができました。

これによりまして、金融機関からの借入契約に関する表明保証違反の解消、並びに平成 20 年 3 月期連結会計年度および同会計年度において債務超過を解消することができたことから、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象が解決し、この度「継続企業の前提に関する注記」の記載が不要となるに至りました。

今後とも、コア事業に経営資源を集中させ当社の企業価値の向上に努める所存でありますので、株主をはじめとするステークホルダーの皆様におかれましては、引き続き当社をご支援の程よろしくお願い申し上げます。

以 上